

日本の航空開発
公開講座で解説
静岡理工大
袋井市の静岡理工大

大で十七日、「日本の航空開発の裏話」をテーマに、本年度第三回公開講座(中日新聞東海本社後援)が開かれた。理工学部機械工学科の園田豊隆教授が「航空機及び航空エンジンの発達と進化」、本田技術研究所航空機エンジンR&Dセンター企業画室の野田悦生(エダノエツシ)主任研究員が「Hondaでの航空用ガスタービン研究とHonda Jet用HF120ターボファンエンジンの開発」と題して講演した。道を切り開いた技術者の体験談に、学生や一般市民らが聞き入った。

この記事・写真等は、中日新聞社の許諾を得て転載しています